令和8年度 第1回 学校評価アンケート結果

羅針盤			評価				現況分析と今後の課題
評価対象	評価項目	具体的方策	総合	生徒	保護者	教職員	
Ⅰ　特色ある学校づくりに努めている。	1　特色ある教育活動を行っている。	1　地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。	A 91.5%	A 88.8%	A 94.7%	A 94.2%	「総合的な探究の時間」を柱とした教育実践は、地域社会の期待に応える強みとして県内外で評価を得ている。探究活動の質的向上を図り、生徒の「確かな学力」と「非認知能力」を高めるプログラムの継続を推進していきたい。
	2　文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。	2　生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。	A 92.0%	A 90.5%	A 93.7%	A 94.1%	保護者や地域と連携し、文武両道を支える「社会に開かれた学校づくり」を推進している。今後も学校・家庭・社会が包括的に生徒を育てる環境を整え、多様な生徒の成長と期待に応える教育活動を展開していきたい。
Ⅱ　生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。	3　生徒の実態に応じた指導を行っている。	3　学習内容の定着を図るための課題を課している。	A 88.9%	A 90.6%	A 86.8%	A 88.2%	各教科において、課題（レポートや作品等）やポートフォリオを活用した多面的な学習状況の見取りを行い、単元・定期テスト等で定着を図っている。今後も多様な観点から生徒の学力を体系的に評価し、確かな学力を伸ばす授業実践に努めていきたい。
	4　生徒は確かな学力を身につけている。	4　生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	A 88.6%	A 90.6%	A 85.9%	A 89.2%	
	5　生徒に自主的な学習を喚起している。	5　生徒の主体性や協働性を高める授業や活動を行っている。	A 93.9%	A 94.2%	A 93.5%	A 93.1%	「総合的な探究の時間」を中心に、生徒が主体的・協働的に学ぶ環境づくりを推進している。スタディサプリや昨年度導入した記憶定着アプリ「Monoxer」等の活用により、授業内のみならず朝や放課後の時間を利用して、自発的に学ぶ生徒が増加した。今後も生徒が意欲的かつ自律的に学習に取り組める環境・仕組みづくりを推進していきたい。
		6　放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	A 90.2%	A 92.1%	A 88.5%	B 82.5%	
Ⅲ　生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。	6　組織的・継続的な指導を行っている。	7　生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。	A 86.7%	A 83.5%	A 90.6%	A 89.3%	規則遵守の意識が高く良好な校風が形成されている。SNSや画像動画に関するトラブル防止に向けては、「デジタルシティズンシップ教育」の観点に基づき組織的かつ繰り返し指導を行っている。今後も時代の変化に応じた適切な指導を推進していきたい。
	7　生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。	8　日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。	A 90.5%	A 89.9%	A 90.8%	A 96.1%	環境保健部と養護教諭が中心となり、全職員が連携しながら生徒の健康管理や指導を進めている。事故や怪我の対応だけでなく、生徒の心理的安全を意識した心のケアにも力を入れている。
	8　生徒が安心安全に学校生活が送れるよう指導や配慮ができている。	9　登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	A 92.1%	A 93.6%	A 89.7%	A 95.1%	登下校時の交通指導に加え、警察と連携した「交通安全教室」の開催や、PTA・高崎市の協力による「マナーアップ運動」「ヘルメット着用啓発運動」を実施している。これらの取り組みにより事故発生件数は低水準で推移しているが、今後も生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、事故防止指導を徹底していきたい。
		10　生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができている。	A 87.3%	A 88.5%	A 85.2%	A 92.2%	教育相談係やスクールカウンセラーとの連携、定期面談等により生徒の悩みを受け止める体制を整えている。端末を活用したアンケートの拡充を図るなど、今後も生徒が早期に相談しやすい環境づくりを推進していきたい。
	9　生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。	11　学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	A 94.3%	A 94.6%	A 95.1%	A 83.5%	スポーツフェスタに向けて、生徒会や実行委員会を中心に生徒が主導して準備を進めている。全校生徒が参加する新規企画を実現させるなど、行事を通して生徒が主体性を発揮している。今後も生徒が主体的に取り組み、活気ある学校生活を送れるようサポートしていきたい。
		12　部活動が活発で充実している。	A 97.3%	A 97.3%	A 97.3%	A 97.1%	運動部・文化部ともに充実した活動を展開し、全国大会等でも多くの成果を挙げている。地域からの高い評価や満足度は、部活動が名実ともに本校の柱であることを示している。今後も生徒の主体的な挑戦と活躍を継続して支援していきたい。
		13　生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。	A 90.9%	A 95.9%	A 83.5%	A 97.1%	生徒会主導による「いじめ防止活動」を継続し、学年やクラスの枠を超えて議論しながらポスターを作成するなど、生徒主体の取り組みを通じて防止意識が着実に高まっている。今後はこうした生徒の自主的な活動成果を保護者や地域へも積極的に発信・周知し、連携を強めていきたい。
Ⅳ　生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10　計画的な進路指導を行っている。	14　生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。	A 92.7%	A 95.8%	A 89.8%	A 82.5%	7限特別講座や長期休業中の集中講座、外部講師による講座を計画的に実施し、生徒の進路希望や学習ニーズに応じた学習機会の充実を図っている。一方で、講座回数や指導体制の確保に課題があることから、講座内容や実施方法を精選・改善し、より効果的で継続的な学力向上につながる講座運営を推進していきたい。
	11　適切な進路情報を提供している。	15　進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。	A 95.1%	A 95.9%	A 94.0%	A 95.1%	各学年のテーマに沿った進路講演会をはじめ、大学見学会や出前授業、高大連携事業などを計画的に実施し、生徒が進学や就職について主体的に考える機会を提供している。また、「Classi」を活用した進路情報発信を充実させ、生徒・保護者への情報共有を図っている。今後は、特に1年次から進路学習やキャリア教育を充実させ、職業観の育成や進路意識の早期形成につながる体験活動や講話、情報提供の機会を一層拡充していきたい。
	12　生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。	16　進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。	A 87.8%	A 91.7%	B 81.3%	A 98.0%	多様な進路希望に対応するため、教員が連携し、小論文・面接・教科指導など、生徒一人一人の進路に応じたきめ細かな指導を行っている。また、「Classi」や「スタディサプリ」を活用した個別最適な学習支援と、定期試験・模擬試験後の二者面談を通して学習状況を把握し、進路実現に向けた継続的な支援を実施していくことが不可欠である。今後も教員の指導力向上を図るとともに、生徒に寄り添った伴走型の進路指導を推進していきたい。
	13　資格取得や検定対策を行っている。	17　検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。	A 92.0%	A 94.1%	A 88.8%	A 96.1%	英語検定や漢字検定、数学検定などの各種検定について、年間を通して複数回の受検機会を設け、生徒の資格取得や学習意欲の向上を支援している。検定取得に向けた事前指導やサポートについては、各教科の指導や協力が大きく、合格に向けたきめ細かな支援を行っている。一方で、検定運営や事前指導は各教科教員の負担が大きいことから、役割分担や指導方法の見直し、効率的で継続可能な支援体制の構築が課題となっている。
Ⅴ　開かれた学校づくりに努めている。	14　家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。	18　ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。	A 87.9%	A 91.5%	A 83.8%	A 81.6%	ホームページ等を通じて学校行事や生徒の躍動する姿を発信し、本校の魅力向上に努めている。今後も保護者や地域、中学生等に対し、必要な情報が分かりやすく届くよう、積極的かつ効果的な情報発信を推進していきたい。
	15　保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。	19　生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	A 85.0%	A 89.9%	B 78.4%	A 86.4%	学校配布物の内容を「Classi」でも同時配信することで、保護者へ確実に情報が届く体制が定着しつつある。今後も迅速かつ適切な情報伝達に努め、保護者との密接な連携のもとで教育活動を効果的に推進していきたい。
		20　「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	A 97.8%	— 	A 97.8%	A 97.1%	
		21　PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	A 89.8%	— 	A 89.8%	A 88.3%	PTA学年集会や「人間探究講座」などを通じ、PTAと教職員が連携した教育活動を展開している。今後も保護者が学校教育に参画できる機会や公開行事の充実を検討し、保護者との連携をより一層深めていきたい。

備考：
1）2026年(令和7年) 7月実施
2）有効回答数−生徒1236名(98.0%)・保護者924名(73.3%)・教職員103名(100%)